

第 19 回目を迎えたメガネ川柳コンテスト。

今回は 1600 を超えるご応募をいただきました。ありがとうございます。

オリンピックイヤーとなった今回は

オリンピックにならって金銀銅メダルとしてご紹介してまいりましょう。

表彰台はコロナに関連する時流を詠んだ句が独占しました。

まずは**金メダル**

老眼で ピントは徐々に ディスタンス

群馬県の『天和』さん、おめでとうございます。

ソーシャルディスタンスという言葉は、流行語のように最近耳にしなくなった気がします。

しかし、老眼は一時の流行ではありません。

まだまだ手を伸ばせば大丈夫、なんて目に負担をかけて眉間にシワを寄せていないで、

一度どうぞ眼科、メガネ店へご相談にお越し下さい。

銀メダルは上手く韻を踏んだこちらの句。

ノーメイク マスクとメガネで フルメイク

東京都の IY さん

マスクだけでも顔の半分ほどは隠れます。

メガネ掛けたら顔の 8 割、隠れてしまう方がいらっしやるかも。

私は合わせても 6 割くらいしかカバー出来ないんです。

額が広いんですね。

禿げてないです。おでこです。

続いて**銅メダル**

みなマスク せめて眼鏡で 出す個性

大阪府の『だいちゃんZ!』さん、前回は入選、今回は見事トップ 3 入りです。

銀メダルは隠しちゃおう、銅メダルは逆に見せちゃおうという句になりました。

相反するようですが、いずれの効果もより発揮するには

オシャレな、派手とも映るようなメガネがオススメですよ。

さて、ここからは入賞作品です。

メガネかけ 持続可能な 我が視力

愛知県の『さごじょう』さん、こちらも 2 年連続入賞です。

サステナブルとかサブスクとかサブちゃんとか、

横文字が氾濫しているのは東京都知事のおかげですかね。

かかりつけ 病院・薬局 メガネ屋さん

埼玉県の『らくちゃん』さん

本来「かかりつけ」とは医療関係へ使われる言葉ですね。

メガネを正しく作る、その方に掛け具合を合わせるフィッティングを行うのは当然です。

そして、歪みや弛みがないか、掛け具合に変わりがないか等の定期的な点検、調整という

メガネは作り使い始めてからの長いお付き合い、アフターケアも重要なのです。

体のことを安心して相談できる掛かり付けの先生のように、

信頼され気軽に立ち寄れるメガネ店であるよう組合加盟各店は努めております。

アスリート ズれないメガネに 金メダル

大阪府の『猫田しろ』さん

デキる人 メガネも話も ズれてない

栃木県の『山宗雲水』さん

競技中にもズれないサングラス姿、カッコよかった、感動しました。

メガネもカツラもズレずにフィットしているのが大事ですね。

あれ？英語でかけ具合のズレはルーズですかね。

ルーズの反対はタイトでしょうか。

でも、キツキツのタイトなカツラじゃあ、取るとき大変じゃないですか。

大変と言えば、先日危うく妻に夜遊びがバレ…あれ？ズれてますか？

ブルーライト 祖母はヨコハマ 孫メガネ

東京都の『エヲリア』さん

コメントもいただきました。

『この度は、楽しい企画を、どうも有難うございます。お若い方は、いしだあゆみさんをご存じないかもしれませんが、昭和世代の皆様にご共感して頂けたら、大変嬉しいです。』

若い方には「(° 旦°)ポカン」でしょうが、私はニヤリとしてしまいましたよ。

おめでとうございます。

コロナ禍はは続いておりますが、オリンピックで感動や笑顔をいただき

また新型コロナワクチンの接種が始まりも安心感につながり

明るさや活気を取り戻しつつあるように感じられます。

メガネ川柳コンテスト、次回は大台 20 回目を迎えます。

いいメガネを掛けて、さらなる面白い句を考えておいてくださいね。